

わたしの聖戦

◎◎女性が働くことについて◎◎ 97

医学ジャーナリスト・医学博士 植田美津恵

買い物と女性たち

ストレス解消のために
何をするか。

この質問の答えは、男女で大きく異なる。女性の場合はたいてい「買い物」がトップである。そう、女性は買い物が好きだ。もちろん、あまり買い物好きでない女性もいれば、買い物好きな男性もいる。しかし、おしなべて女性という性は買いたい物がストレス発散であり、楽しみであり、欠かせないものであることが多い。

幼いころ、母に「服と化粧品の本当の値段は男性に言っただけはない」と言われたことがある。当時はよくわからなかつ

だろう。

もうひとつは「食べること」である。こちらへの執着も女性のほうが強い。男性が飲み食いするのを真剣に考えるのは仕事からみることが多いが、女性のそれはまた違う。女性たちは本当に食べる

になるべく短時間で済ませようとする男性陣とは大違いだ。

乳幼児を見ていても、乳離れにてこずるのは男の子のほうではないだろうか。女の子は、早々と離乳食に興味を示し、いつまでも母乳やミルクに

執着しない。

もつとおいしいものがある。と知ったら、もう興味は尽きない。夢中になつて離乳食や固形食を口にすると、その食欲さはこの先ずっと続くのだ。

男性のほうが単純だとよく聞か

く聞か、ストレス解消については、女性のほうがシンプルである。嫌なことがあつたりむしゃくしゃすると、ちよつと値

の張る食事をする、あるいは少し無理して服やバッグや靴のためにお金を

使う。このいずれかで



女性たちはそれらをせっせと買ひ、……

のを楽しみ、それとセツトにおしゃべりも楽しみ、ついでおしゃべりもいっしょくたにして楽しみにしてしまふ。

ちよつとしゃれたホテルのランチタイムなど、そんな女性たちで溢れかえっている。仕事の合間

ほとんどの嫌なことを忘れることができる。もし夫に尋ねられたら、ゼロをひとつごまかして申告するくらい平気である。そこには私の母のセリフのように、「言っただけはない」本能が働くからだろう。

それに比べると男性のストレス発散はなかなか多彩だ。一杯飲むかカラオケで歌うか寝るかバツティングセンターに行くかゴルフか、こんなところが右往左往しているが、何だかどれも中途半端にみえる。

男女の性差が少しずつ無くなつていくのは確かである。それも急激な勢いで。しかし、買い物と食べることに強い関心を持つ女性の特性はまだ残っている。その姿は肉食系といわれても、やはり女性の特権であることに変わりはない。

イラスト・三浦義雄